

木箱から飛び立つコウノトリ3日、韓国・忠清南道礼山郡



名前【 】

① 韓国の礼山コウノトリ公園で、3日に放鳥されたコウノトリは何羽でしたか？

【 羽 】

② 1971年に韓国で野生のコウノトリが絶滅しましたが、国立韓国教員大学が保護増殖に乗り出したとき、どこかの助言を受けたのでしょうか？

【 】

③ 現在、韓国の大学や公園で飼育しているコウノトリは、およそ何羽ですか？

【 羽 】

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

Empty box for writing an opinion.

コウノトリ 韓国の空へ

日本と同様、コウノトリの野生復帰に取り組む韓国で初となるコウノトリの放鳥が3日、同国西部の忠清南道礼山郡の礼山コウノトリ公園であった。放鳥式典には、協力する豊岡市側からも住民団体メンバーや研究者らが参加。約3500人が見守る中、兵庫県立コウノトリの郷公園(同市祥雲寺)から譲渡された鳥の子孫も含め、8羽が野に放たれた。(29面に関連記事)

豊岡も協力、初の放鳥

韓国では1971年に野生のコウノトリが絶滅。96年、国立韓国教員大学が保護増殖に乗り出した。飼育実績があり2005年には放鳥を始めた県立コウノトリの郷公園や豊岡市などの助言を受け、現在、同大と礼山コウノトリ公園で計約170羽を飼育する。式典には、コウノトリの郷公園の山岸哲園長らも招かれ、同市の中貝宗治市長は放鳥にも参加。木箱からコウノトリ6羽が次々と飛び立つと、観衆からは拍手と歓声が上がった。式典会場近くの飼育ケージでは、天井を開放して2羽を飛び立たせた。同大などは今後も、豊岡市側と協力して野生復帰を進めていく。(斎藤雅志)

